

□ **スポーツ倫理に関する理論的・実践的研究**

「アスリート道徳」の教材・授業開発 スポーツ・インテグリティ教育プログラム

Keyword : スポーツ・インテグリティ、スポーツ倫理、モラル、アスリート

研究の概要

我が国のスポーツ界では「スポーツ・インテグリティ」の確立が重要な課題となっており、競技界及び競技者に高い倫理観と行動基準を定着させ、不正行為が未然に抑止されるような取組の強化が図られている。しかし、スポーツ・インテグリティ教育の教材開発、教育手法、カリキュラム構築は未構築、計画段階にあると言われており、教育・学習理論の知見に即した教育プログラムの開発・普及が十分な状況にあるとはいえない。研究室では、2017年よりアスリート及びアスリート育成関係者の自律的・倫理的思考の強化・促進に資する教材及びプログラム開発を進めており、これまでに道徳的葛藤理論や価値明確理論に基づく教材を提供してきた。2019年度はナショナルトレーニングセンターでの卓球ジュニア選手に対する研修や日本オリンピック・アカデミーでの研修を担当した。

今後も教材及び教育プログラムの開発・実践を重ねながら、プログラムに対する評価検証を重ね、より汎用性の高い教育実践を提供していく予定である。



教育学部

アピールポイント

・特筆すべき研究ポイント：

専門とする哲学・倫理学および道徳教育の理論をもとにして、新たなスポーツ・インテグリティ教育の開発・提供をてがけてきた。とりわけ、日本卓球協会との共同研究により、「マインドテン」や「レディーゴー」などの特色ある教材が開発され、活用が進められている。これまでの取組は共同通信社、静岡新聞、静岡第一テレビ、SBSラジオ等で報道され、スポーツ関係者や競技団体との連携も広がっている。また、論文発表や国際学会での報告等を契機に、国内外の専門家との共同研究も立ち上げ、ポスト東京2020を見据えたスポーツ文化の発展に取り組んでいる。



・関連書籍等：

藤井基貴『「考え、議論する道徳」への構造転換—スポーツを題材とした『アスリート道徳』の授業開発—』心理科学研究会編『心理科学』39/2, 2019年, 33-43頁.



藤井 基貴

学術院教育学領域
学校教育系列
准教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・防災教育
- ・道徳教育
- ・スポーツ倫理教育
- ・研究倫理
- ・教員養成
- ・子育て支援
- ・青少年支援
- ・SDGsに関わる教育

■ その他の社会連携活動

- ・文部科学省・中央教育審議会・専門委員 (2011年10月～)
- ・静岡県教育委員会・道徳教育推進協議会・会長 (2009年～)
- ・日本卓球協会・スポーツ医科学委員会・委員 (2017年～)
- ・文部科学省事業委員会・研究倫理教育・専門委員 (2018年～)
- ・内閣府「地域コアリーダープログラム(青少年分野)」ドイツ派遣団員(2016年度) 等